

検診無料クーポン券で 検診を受けよう

今年度においても、国が定めた特定の年齢に達した方について、次の検診無料クーポン券を5月9日に郵送しました。
子宮がん・乳がんは早期に発見・治療すれば治癒する確率の高いがんです。例年、有効期間間に受診希望者が集中し、受診の機会を逃してしまう方が見受けられます。早めの受診をお願いします。また、大腸がんは近年働き盛りの男女とも増加しているがんです。ぜひこの機会にがん検診を受け、自分の健康を守っていきましょう。
※重複して対象となっている方へは、これらの検診無料クーポン券を同封して郵送しました。
※詳細は、個人通知の同封物をご覧ください。

**子宮頸がん検診無料
クーポン券**

▼対象：平成24年4月1日現在、20・25・30・35・40歳の女性
▼内容：子宮頸がん検診
▼受診方法：市の婦人科検診
(集団検診または医療機関検診)
※子宮がん医療機関検診受診券も同封しています。

**乳がん検診無料
クーポン券**

▼対象：平成24年4月1日現在、40・45・50・55・60歳の女性
▼内容：マンモグラフィ検査
▼受診方法：市の婦人科検診
(集団検診または医療機関検診)
※乳がん医療機関検診受診券も同封しています。

**大腸がん検診無料
クーポン券**

▼対象：平成24年4月1日現在、40・45・50・55・60歳の方
▼内容：便潜血検査(2日法)
▼受診方法：市の大腸がん検診



**肝炎検診無料
クーポン券**

▼対象：平成24年4月1日現在、40・45・50・55・60・65・70歳で、市の肝炎ウイルス検診未受診の方
(みらい健診①またはみらい健診②)

子宮がん・乳がん集団検診のご案内 ～婦人科検診を受けましょう～

子宮がんとは・・・
子宮頸がんと子宮体がんの2種類に分けられます。
子宮頸がん
子宮頸部(膣に近い部分)にできるがんです。子宮頸がんの罹患率は、50歳以上では減少傾向にあります。20～24歳では約2倍、25～29歳では3～4倍に増加しています。
乳がんとは・・・
食生活が脂肪分の多い欧米的なものに変わってきたことに伴い、最近では日本人女性の間でも急増しています。
乳がんが多く見られるのは、40歳代から50歳代にかけてですが、30歳を過ぎたところから急増するので、30歳以上の方は特に注意が必要です。

問 健康増進課(がん対策室)
☎ 25・2100

▼内容：血液検査(B型肝炎ウイルスおよびC型肝炎ウイルス検査)
▼内容：市の肝炎ウイルス検診(みらい健診①またはみらい健診②)
どちらのがんも早期に発見することで治癒する確率が高くなる病気ですので、定期的に検診を受け、健康管理に心がけましょう。
集団検診(要予約)
▼実施日：7月7日(土)、9日(月)
▼申込期間：6月11日(月)～15日(金) 午前9時～午後5時
※定員になり次第締め切ります。
▼会場：谷和原保健福祉センター
▼申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。
①申し込み受け付け専用電話：☎ 25・2983(にっこりつくばみらい)
②谷和原保健福祉センター窓口
※本人または同一世帯のみ受付可能。

検診年齢区分	検診項目	負担額
子宮がん検診		
20歳以上の方	子宮頸部細胞診	600円
乳がん検診		
20～39歳の方	超音波	600円
40～49歳の方	超音波+マンモグラフィ(2方向) ※1	1200円 ※2
50～56歳の方	超音波+マンモグラフィ(1方向) ※1	1200円 ※2
57歳以上の方	マンモグラフィ	600円

※1マンモグラフィは被爆量を考慮し、2年に1回の受診となります。そのため、40～56歳の方で、前年度マンモグラフィを受診された方は、今年度は超音波のみとなります。
※2超音波のみは600円
妊娠中の方や乳房のしこり、不正出血などの自覚症状のある方は、市が実施する検診の対象になりません。直接、医療機関に受診してください。
問 健康増進課(がん対策室)
☎ 25・2100